学校番号	1009

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	表現メディアの編集と表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

メディアとは大きく分けると、情報の記録・伝達・保管などに用いられる物や装置という意味と、媒体（ばいたい）という意味がある。世の中にあるメディアの特性を知り、情報を的確かつ効果的に伝えるためには、どのメディアをどのように活用すればよいか実習を通して学びます。

２　学習の到達目標

コンピュータによる表現メディアの編集と表現に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	メディアの種類とそれぞれがもつ特徴について関心を持ち、その編集・表現・利用に主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	メディアの編集・表現を実際に行うに当たって、思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を身につけたうえで、さらに適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	メディアごとに異なる編集方法を理解し、適切なアプリケーションの選択・利用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付け、そこに関連する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	メディアとその特性に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会におけるメディア及び情報伝達の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 確認テスト 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 課題作品 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 確認テスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1クール	表現メディアの種類と特性	・メディアの定義、メディアの役割と特性についての学習	○	○			a:各メディアとその特性について関心を持っているか。 b:グループワークを通して、メディアの利用方法や考え方の違いを知ることができているか。	ワークシート 授業観察
第2クール	2Dコンピュータグラフィックスの制作	・2Dコンピュータグラフィックスの制作	○	○	○	○	a:コンピュータグラフィックスに関心があるか。 b:情報伝達に効果的な配置や配色を理解して作品を作れているか。 c:2Dグラフィックスソフトの使用方法を理解できているか。 d:2D グラフィックスのベクタ形式とラスタ形式の表現方法を理解できているか。	ワークシート 授業観察 実習作品 課題作品 確認テスト
第3・4クール	映像制作	・CMの分析と制作	○	○	○	○	a:テレビ等で放送されている CM に興味を持ち、分析できているか。 b:商品をより良く広告するための工夫を理解し、実習作品を作れているか。 c:カメラや動画編集ソフトの使用方法を理解できているか。 d:映像のディジタル化を理解できているか。	ワークシート 授業観察 実習作品 課題作品 確認テスト
第5クール	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの準備と発表	○	○	○		a:計画を立て、十分に事前準備ができているか。 b:課題（テーマ）に合った内容であり、相手が理解しやすい表現で発表できているか。 c:プレゼンテーションソフトの使用方法を理解できているか。	ワークシート 授業観察 実習作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。